

「日本における MEWDS の臨床的特徴に関する多施設共同後ろ向き研究」に関する患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター眼科では、「日本における MEWDS の臨床的特徴に関する多施設共同後ろ向き研究」に参加することになりました。

この研究の目的は、多発性消失性白点症候群（MEWDS）の患者さんの発症時期や症状、さらにステロイド治療の効果を調べて、疾患の特徴や最適な治療法を明らかにすることです。

この研究のため、2001年1月1日より2020年12月末までに外来受診した方の診療録の調査を行います。対象となるのは当院で MEWDS と診断された方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（発症年齢、視力、症状経過等）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは本研究の代表であります三重大学眼科に郵送にて送付され厳重に管理されます。本研究における他の参加施設情報については別紙（裏面）をご覧ください。今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2021年9月

研究責任者

東京医療センター眼科 角田和繁

連絡先 03-3411-0111(代表)

別紙

研究の実施体制

< 研究責任者 >

三重大学 眼科 教授 近藤峰生 統括

< 研究分担者 >

三重大学 眼科 助教 松井良諭

< 共同研究機関と連絡先、情報管理の責任者 >

東京医療センター 臨床研究センター 視覚研究部長 角田和繁

北海道大学 眼科 齋藤 航

名古屋大学 眼科 上野 真治

東京慈恵会医科大学 葛飾医療センター 眼科 林 孝彰

杏林大学病院 眼科 慶野 博

近畿大学病院 眼科 国吉 一樹

群馬大学病院 眼科 秋山 英雄